

録音の声は、だれの声か

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール：初めて読む英文から、大意と必要な情報を制限時間内につかむ / 本文はこの教材のための書き下ろし（初見用）です。

You record your voice on your phone and play it back. Something is wrong. The voice does not sound like you at all. Almost everyone feels this, and the phone is not broken.

When you speak, the sound reaches your ears in two ways. Part of it goes out through the air, around your head, and into your ears. The rest travels inside your body, through the bones of your skull, straight from your throat to your ears.

Bone carries low sounds better than air does. So the voice you hear while you are speaking has extra low tones in it. To you, it sounds deeper and richer than it really is.

A recording keeps only the first way. It saves the air sound alone. That thin voice on your phone is the one your friends have heard since the day they met you.

So do not delete it. Play it again and listen to it as your listeners do. It is not a poor copy of your voice. It is the voice that leaves your mouth.

〔語注〕 skull＝頭がい骨 throat＝のど tone＝音の響き

設問 本文の内容に合うものを選ぼう。

- (1) この文章がいちばん伝えたいことは？ 思考・判断・表現 答え（ ） 3点
- ア 自分に聞こえる声と、他人に聞こえる声は別物だ
 イ 録音機器の性能が上がれば、この違和感は消えていく
 ウ 自分の声の録音は、聞き返さないほうが練習になる
 エ 骨は空気よりも、音を伝えるのに時間がかかる
- (2) 話しているとき、自分の声が耳に届く道すじについて、本文の内容に合うものは？ 知識・技能 答え 3点
- （ ）
- ア 空気を通る道すじだけがあり、骨は関係していない
 イ 骨を通る道すじだけがあり、空気の音は届かない
 ウ 空気を通る道すじと、骨を通る道すじの2つがある
 エ 2つの道すじがあり、どちらもマイクが記録している
- (3) 骨を通して伝わる音について、本文が述べていることは？ 知識・技能 答え（ ） 3点
- ア 高い音だけを伝えるので、自分の声は実際より細く聞こえる
 イ 低い音をよく伝えるので、自分の声は実際より深く聞こえる
 ウ 音をほとんど伝えないので、声の聞こえ方には影響していない
 エ 録音された声のほうが、骨を通して届く音に近いものになる
- (4) 筆者が最後にすすめているのは？ 思考・判断・表現 答え（ ） 3点
- ア 録音した声を、聞き手が聞いている声として聞き直す
 イ 録音は消して、鏡の前で話す練習をくり返すほうがよい
 ウ 録音するときだけ、ふだんより声を低くして話すとうい
 エ 骨を通る音まで記録できる機械を使って録り直すとうい

録音の声は、だれの声か（基礎） | 解答と出題のねらい

解答

(1)	ア	第1段落 the phone is not broken と最終段落 It is the voice that leaves your mouth。イは第1段落で否定されている。
(2)	ウ	第2段落 the sound reaches your ears in two ways。エは第4段落 keeps only the first way と食いちがう。
(3)	イ	第3段落 Bone carries low sounds better than air does / deeper and richer than it really is。
(4)	ア	最終段落 Play it again and listen to it as your listeners do。イは do not delete it と正反対。

出題のねらい 定期テストに移すときの観点マップ

「録音した自分の声が自分の声聞こえない」—ほぼ全員が経験しているのに理由を知らない、という型の英文です。結論が経験を裏切る（変なのは録音のほうではなく、ふだん自分に聞こえている声のほう）ので、(1)と(4)は本文に戻らないと取れません。スピーキングテストや音読の録音を始める学年で配ると、「録音の声が嫌だ」という抵抗そのものを教材にできます。

設問	型	観点	テストでの使い方
(1)	大意（スキミング）	思考・判断・表現	概要把握。経験と逆になる主題を選べるか
(2)	明示情報	知識・技能	2つの経路（空気と骨）の読み取り。片方だけの誤答を切る
(3)	明示情報	知識・技能	骨が低い音をよく伝えるという因果の読み取り
(4)	筆者の提案	思考・判断・表現	結論段落から「読者にできること」を選ぶ

3つの版の使い分け

同じトピック・同じ設問構造で、英文の語彙・構文と選択肢の言語だけを変えてあります（基礎=選択肢も日本語／標準=選択肢が英語／発展=設問も英語）。①クラスの帯に合わせて選ぶ ②同じクラス内で配り分ける ③基礎→標準→発展と日を空けて再挑戦—の3通りの使い方ができます。正解の記号は版ごとに違います（配り分けのときの写し合い対策にもなります）。

